

製品名: p52 S6 キナーゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15638**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	117kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6KC1 RPS6KC1; RPK118; Ribosomal protein S6 kinase delta-1; S6K-delta-1; 52 kDa ribosomal
別名	protein S6 kinase; Ribosomal S6 kinase-like protein with two PSK domains 118 kDa protein; SPHK1-binding protein
遺伝子 ID	26750.0
SwissProt ID	Q96S38
免疫原	抗血清はヒト RPS6KC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

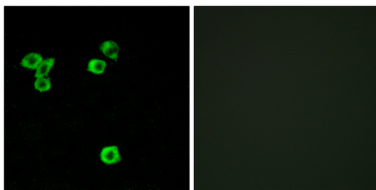
背景

触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。注意:結合部位には Lys-820 ではなく Arg-820 があります。ドメイン:最初のタンパク質キナーゼドメインは、ATP 結合モチーフ、ATP 結合部位、活性部位などの古典的な特徴を含まないため、擬似キナーゼドメインであると思われます。機能:スフィンゴシン-1 リン酸 (SPP) を介したシグナル伝達を細胞内に伝達することに関与している可能性があります。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。S6 キナーゼサブファミリー。類似性:1つの MIT ドメインを含む。類似性:1つの PX (フォックス相同性) ドメインを含む。類似性:2つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内局在:いくつかの小さな点状またはリング状の初期エンドソーム構造にも見られる。サブユニット:SPHK1 およびホスファチジルイノシトール 3-リン酸と相互作用する。組織特異性:精巣、骨格筋、脳、心臓、胎盤、腎臓、肝臓で高度に発現し、胸腺、小腸、肺、結腸で弱く発現する。触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。注意:結合部位には Lys-820 ではなく Arg-820 が見られる。ドメイン:最初のタンパク質キナーゼドメインは、ATP 結合モチーフ、ATP 結合部位および活性部位。機能: スフィンゴシン 1 リン酸 (SPP) を介したシグナル伝達を細胞内に伝達する役割を担う。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。S6 キナーゼサブファミリー。類似性: 1つの MIT ドメインを含みます。類似性: 1つの PX (phox 相同) ドメインを含みます。類似性: 2つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。細胞内局在: 一部の小さな点状またはリング状の初期エンドソーム構造にも見られます。サブユニット: SPHK1 およびホスファチジルイノシトール 3 リン酸と相互作用します。組織特異性: 精巣、骨格筋、脳、心臓、胎盤、腎臓、肝臓で高発現し、胸腺、小腸、肺、結腸で弱発現します。

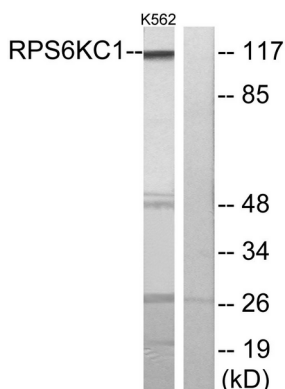
研究分野

血管新生を制御する; インスリン受容体; B細胞受容体; AMPK

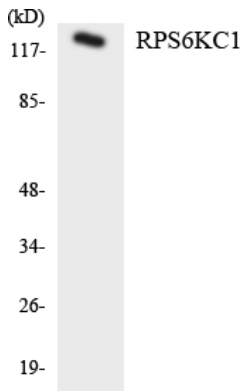
画像データ



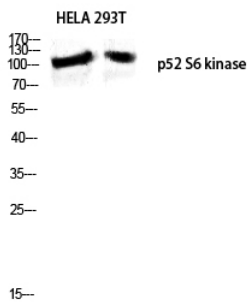
RPS6KC1 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



RPS6KC1 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



RPS6KC1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



p52 S6 キナーゼ抗体を用いた HELA 293T の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。